

高齢者に多い誤嚥性肺炎

食べ物飲み込み機能を嚥下(えんげ)といいます。食べ物飲み込み瞬間、間違えて空気以外のものが気管に入らないよう、ふたが閉まる仕組みになっています。何かを食べたり飲んだりした時に、本来は食道から胃へ運ばれるものが、誤って気管から肺に入ってしまうことを「誤嚥(ごえん)」と言います。仮に食べ物気管に入っても、せきをしたり、むせたりして気管の外へと押し出されることがありますが、こうした動きは年齢とともに弱くなっていくため、誤嚥が起こりやすくなります。

「誤嚥性肺炎」とは、誤嚥によって肺炎細菌などの細菌が肺に入り込むことで起こる肺の炎症です。高齢者の肺炎の約7割が誤嚥に関係しています。飲食物に限らず、寝ている間に唾液や胃液とともに細菌が肺に流れ込んでしまうこともあります。

口ケアは重要です。口の中に細菌が多いと肺炎になりやすいので、歯磨きをきちんとし口腔内の清潔を保ちましょう。



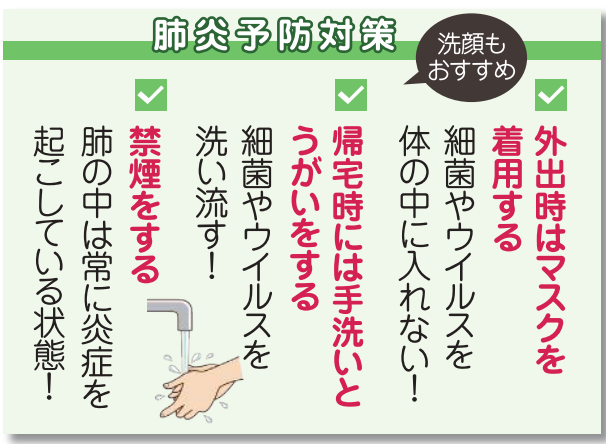
鼻などの粘膜から体内に入り込んで感染します。また、人が多く触れるドアノブや手すりなどに付着した病原体が、自分の手の指を経由して口や鼻から体内の中に入り込んで感染する接触感染があります。感染場所として、日常生活を営んでいる人が突然肺炎を発症する「市中感染」と、病室やケガで病院に入院している人が新たに発症する「院内感染」があります。



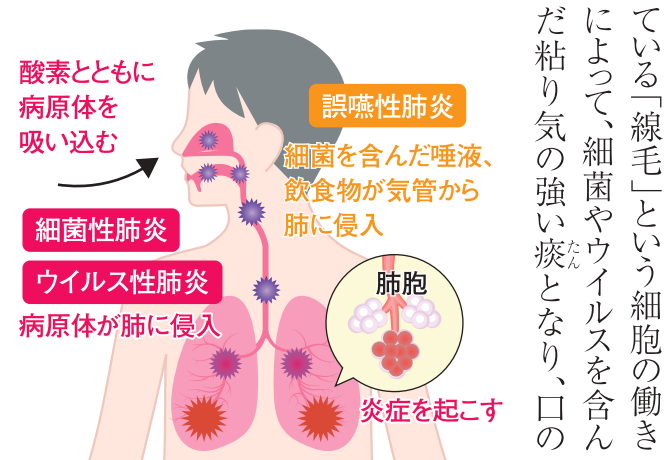
市中感染の場合、早期に必要な治療を行うことができれば数週間で回復します。院内感染とは、病院に入院してからの感染です。肺炎の予防には、早急な治療を受けることが大切です。病気が重くなる前に、手術や入院時には、体の免疫力が著しく低下しているため、肺炎を起さずすくすくする必要があります。

肺炎の予防には、早急な治療を受けることが大切です。病気が重くなる前に、手術や入院時には、体の免疫力が著しく低下しているため、肺炎を起さずすくすくする必要があります。

慢性的疾患のある人は毎年、健康診断を受けて自分自身の体の状態を知ることが大切です。検査の中の「胸部X線検査(胸のレントゲン)」では肺や気管支などの呼吸器のほか、心臓などの病変を調べることができます。



健康医療ナビ

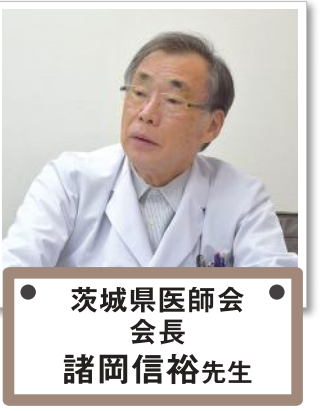


肺炎の症状 38度以上の高熱が続く、せきや痰が出る、胸痛、呼吸が苦しい、食欲不振が続く、倦怠感、脱水症状

細菌性肺炎は、細菌が原因となつて発症する肺炎です。もともとの原因菌が「肺炎球菌」と言われていて、発症すると発熱に加えて、湿ったせき、黄色や緑色の痰などが生じます。

65歳からの高齢者の肺炎予防

厚生労働省が発表した人口動態統計によると、2018年に亡くなった人の死因で3番目に多いのが「肺炎」(誤嚥性肺炎を含む)。肺炎は、日本人にとって身近な怖い病気といえる。肺炎はどのような病気か、そして予防するにはどうしたらいいのか、茨城県医師会長の諸岡信裕先生に話を聞きました。



肺は呼吸をつかさどる器官で、「肺胞」と呼ばれる小さな袋状の組織がたくさん集まってできています。鼻や口から吸い込んだ空気中の酸素は、のど、気管、気管支を通じて肺へと送り込まれます。酸素は肺胞で血液の中に取り込まれ、血液とともに全身を巡りながら、細胞内でエネルギーを作り出すための燃料として使われます。使用後は二酸化炭素となつて肺へと戻り、体外へ排出されます。肺は、酸素を体内に取り入れ、「ガス交換」という重要な役割を担っているのです。

肺炎は発症すると、次のような症状が現れます。持病や加齢、ストレスなど、何らかの理由によって免疫力(病原菌を排除する力)が落ちてしまつたと、病原体が気道を通り過ぎて肺まで入り込み、肺に炎症を起してしまつたのです。肺炎とは肺胞に炎症が起きた状態をいいます。

Table with 3 columns: 原因 (Cause), 特徴 (Characteristics), and 菌種 (Bacterial Type). Rows include Bacterial pneumonia, Viral pneumonia, and Atypical pneumonia.

なぜ高齢者や持病のある人は肺炎にかかりやすいのか

方へ戻されます。少量であれば食道へ送り、胃で消化させて病原菌を死滅させます。このように、体のさまざまな防御システムがあるため、通常は病原体の侵入を許さないのです。

肺炎は病原体の種類によって「細菌性肺炎」「ウイルス性肺炎」などに分類されます。

Real estate advertisement for 'Station Direct' (駅直結) mansions. Features include proximity to station, large indoor common areas, and various amenities. Contact: 0120-555-712.

Medical advertisement for 'Sankai Clinic' (サンシャイン・クリニック) focusing on brain and vascular health. Services include hypertension, diabetes, and dementia screening. Contact: 029-839-3333.

Medical advertisement for 'Sankai Clinic' (サンシャイン・クリニック) listing various medical services and consultation hours. Contact: 029-839-3333.

Medical advertisement for 'Shikawa Minami Hospital' (小川南病院) located in Shikawa City. Services include internal medicine, surgery, and pediatrics. Contact: 0299-58-1131.

Medical advertisement for 'Ishikawa Hospital' (築波病院) located in Tsukuba City. Services include internal medicine, surgery, and pediatrics. Contact: 029-850-7111.